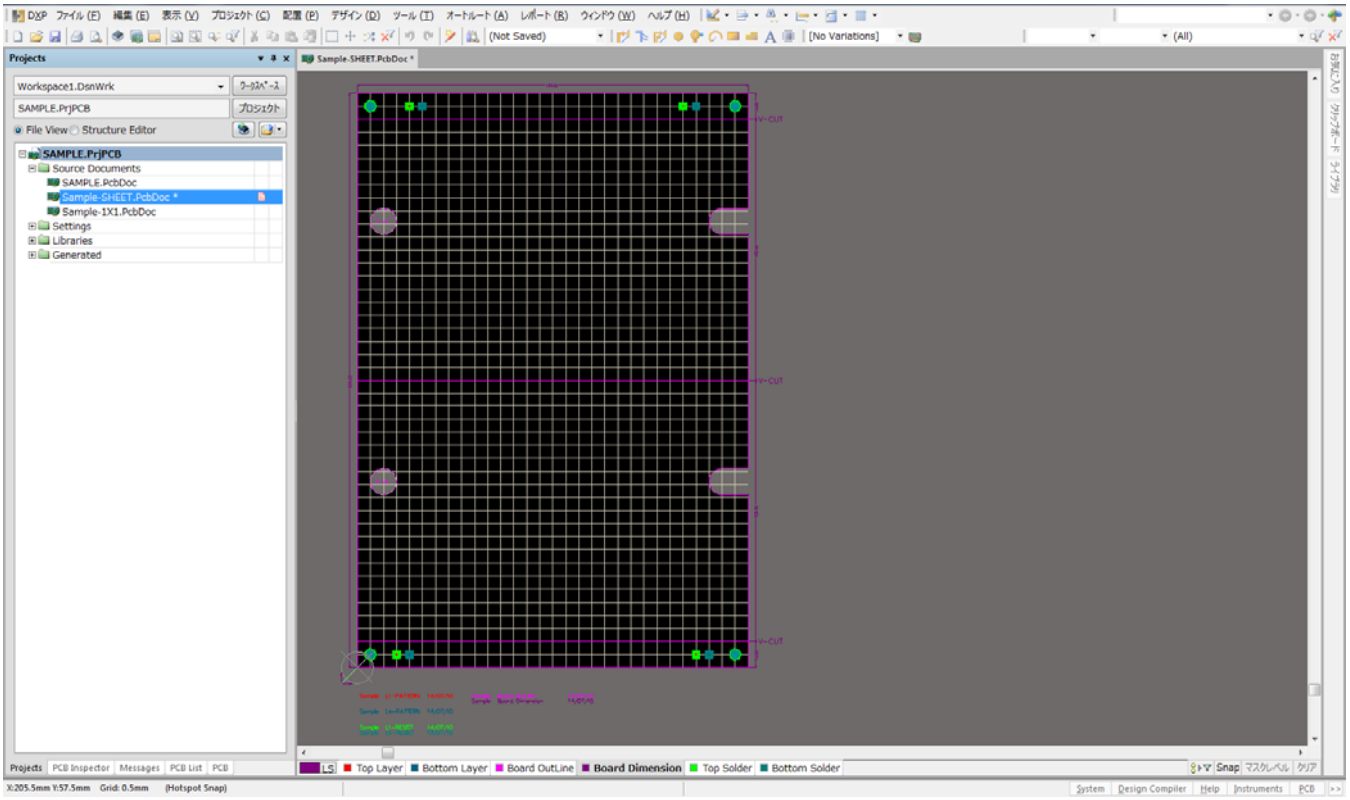
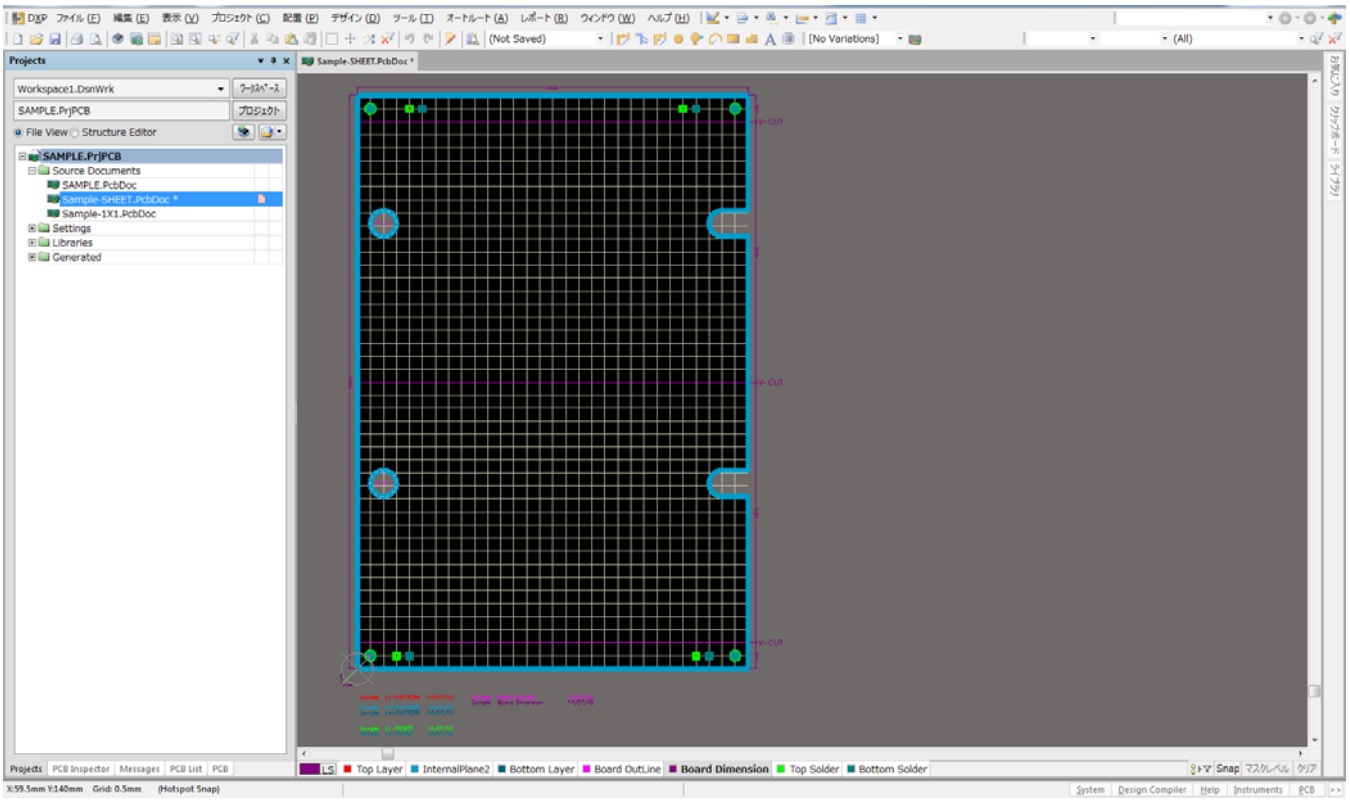
面付けデータ作成　　（別の Pcb.Doc で面付け外形を入力する。）



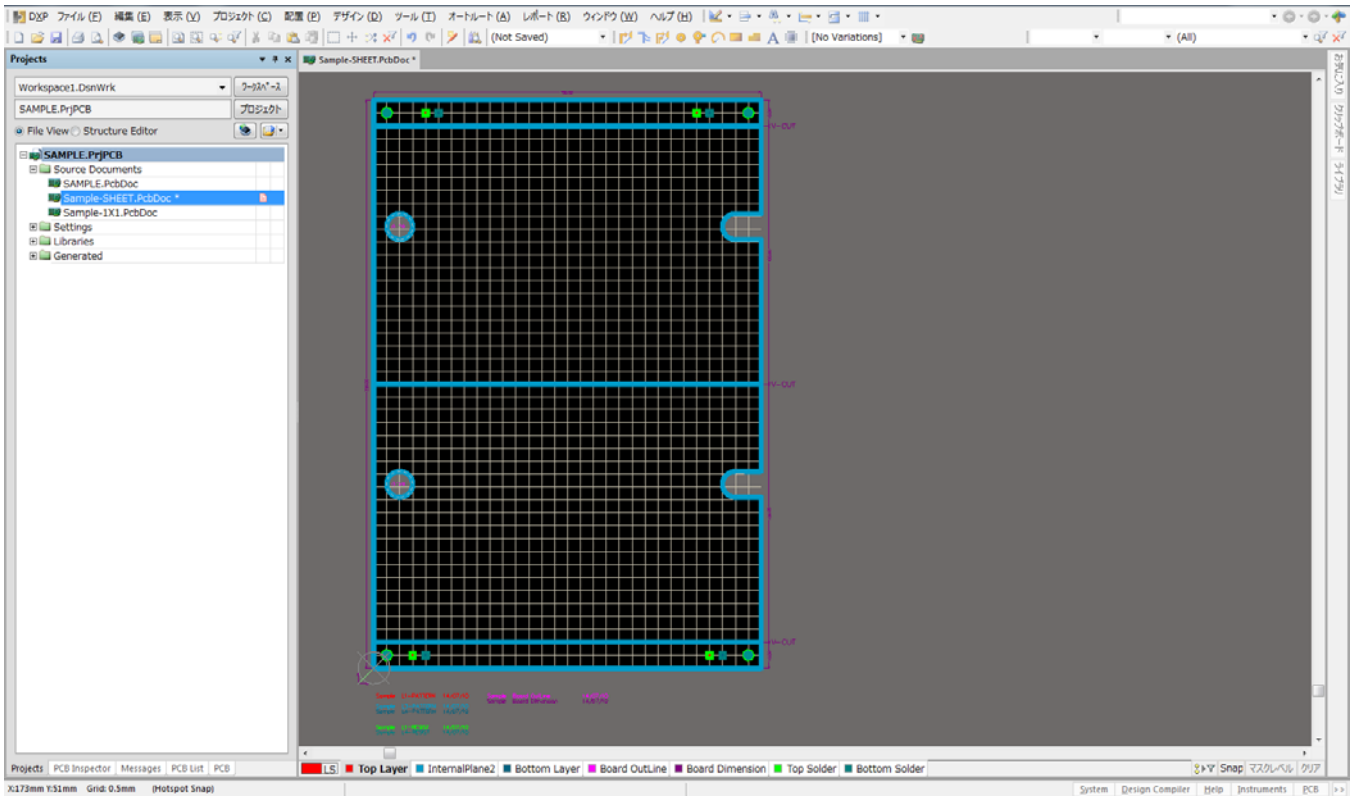
注意：面付けをする時は部品実装時の事を考えて行う。ライトアングルのコネクターなどは
　　捨て板の部分に重なる様に考慮する。
　　基板製造ワーク寸法を考慮し、取り数のいいサイズを検討（基板製造メーカーに相談要）

面付けの内層



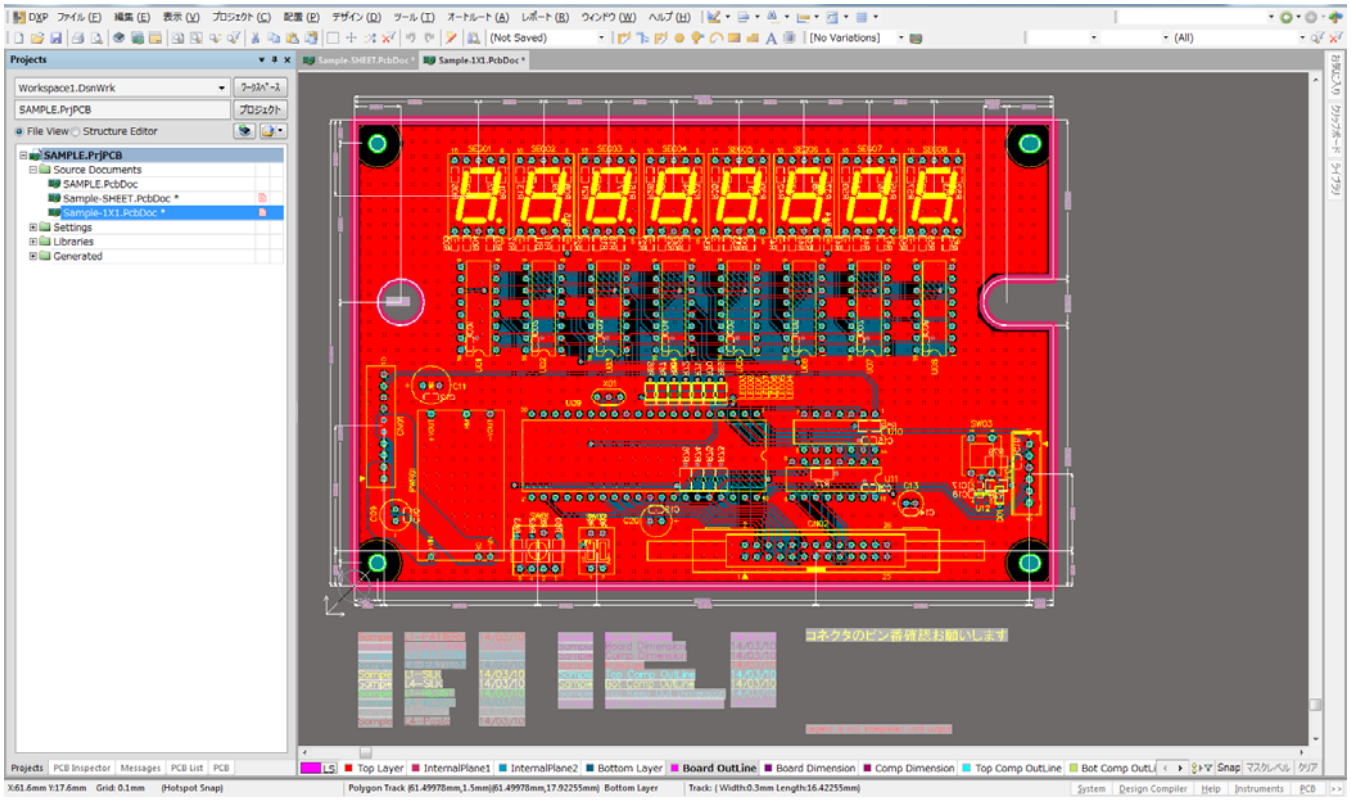
V-CUT のライン上は内層逃げが自動発生しないので、ラインを入力する。

内層逃げの入力後　（DRC などではエラーはでません。基板製造すると基板断面ショートとなる。）



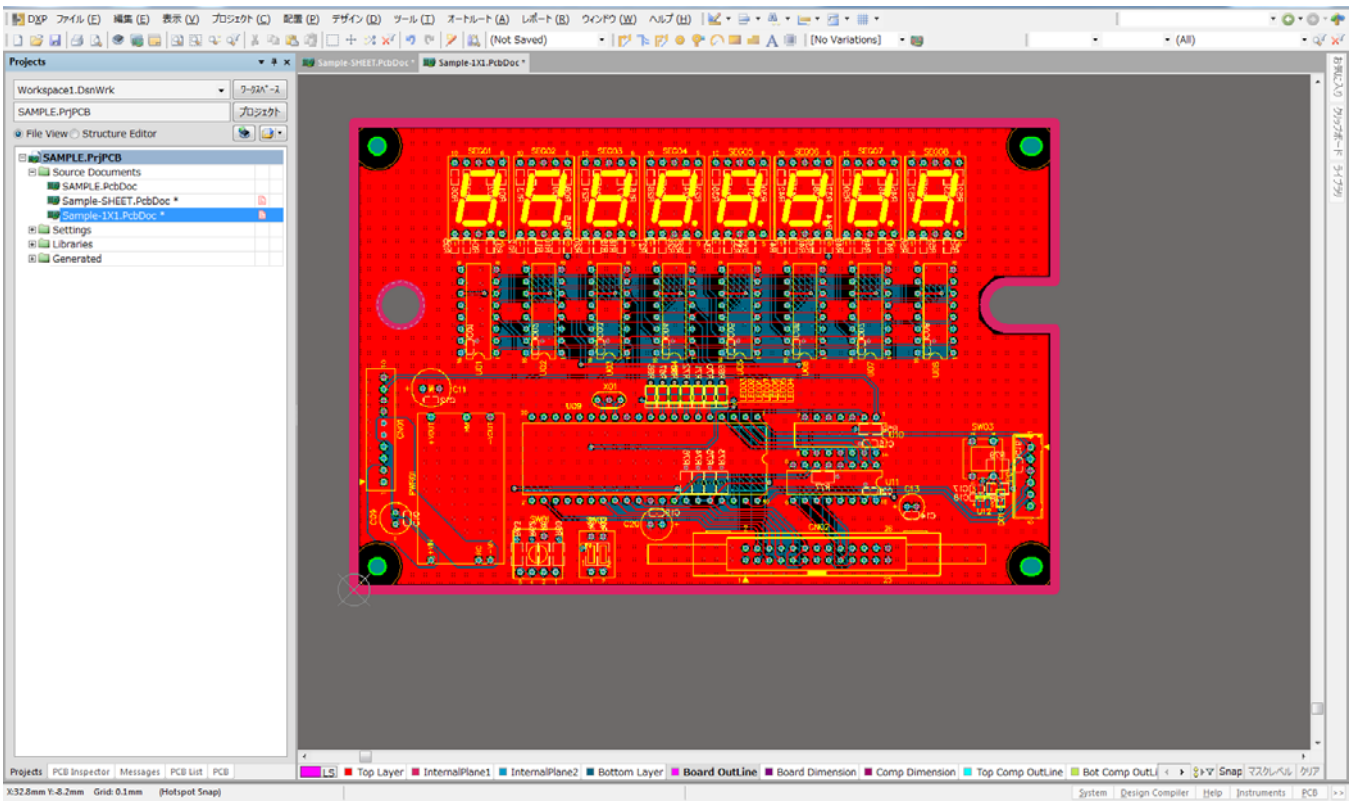
その他：基準穴・基板認識マーク

面付け外形に貼付けるデータの作成



基板内のデータを残し、外形・外形寸法・文字などを削除する。

削除後　（面付け外形に貼付けた時に重ならない様にする）



PcbDoc は３つになります。Sample.PcbDoc　Sample-1X1.PcbDoc　Sample-SHEET.PcbDoc

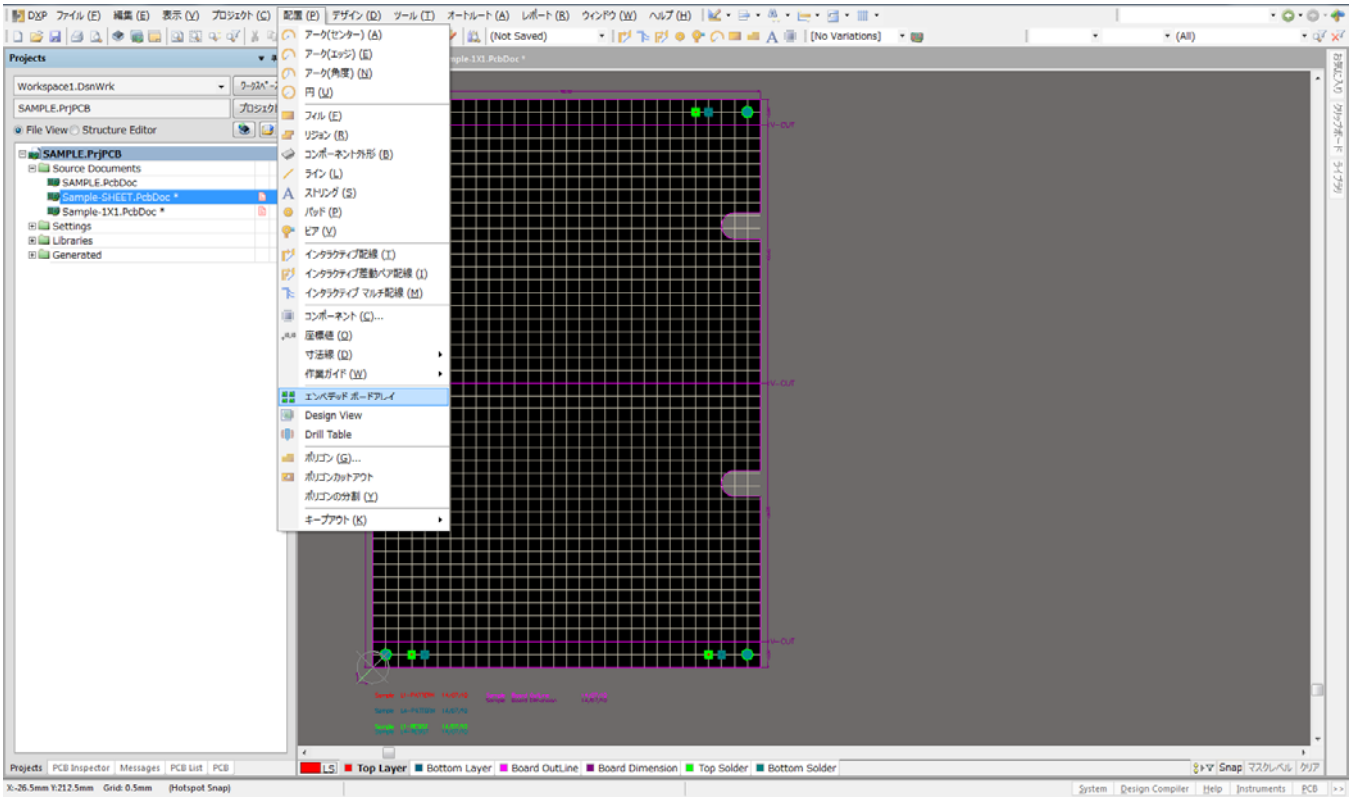
Sample.PcbDoc:　　設計用

Sample-1X1.PcbDoc：面付け貼付け用

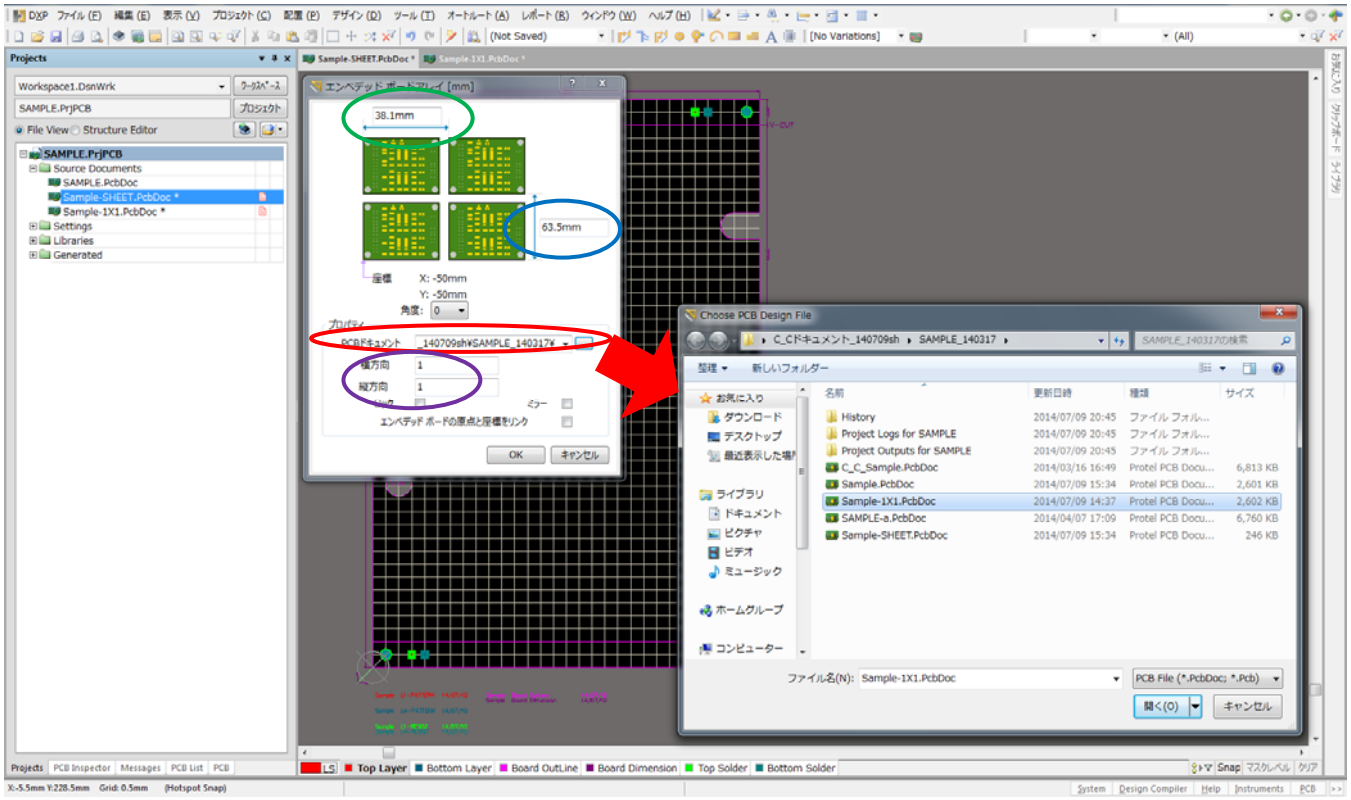
Sample-SHEET.PcbDoc：面付け外形

面付け外形への貼付け

配置＞＞エンベデットボードアレイ

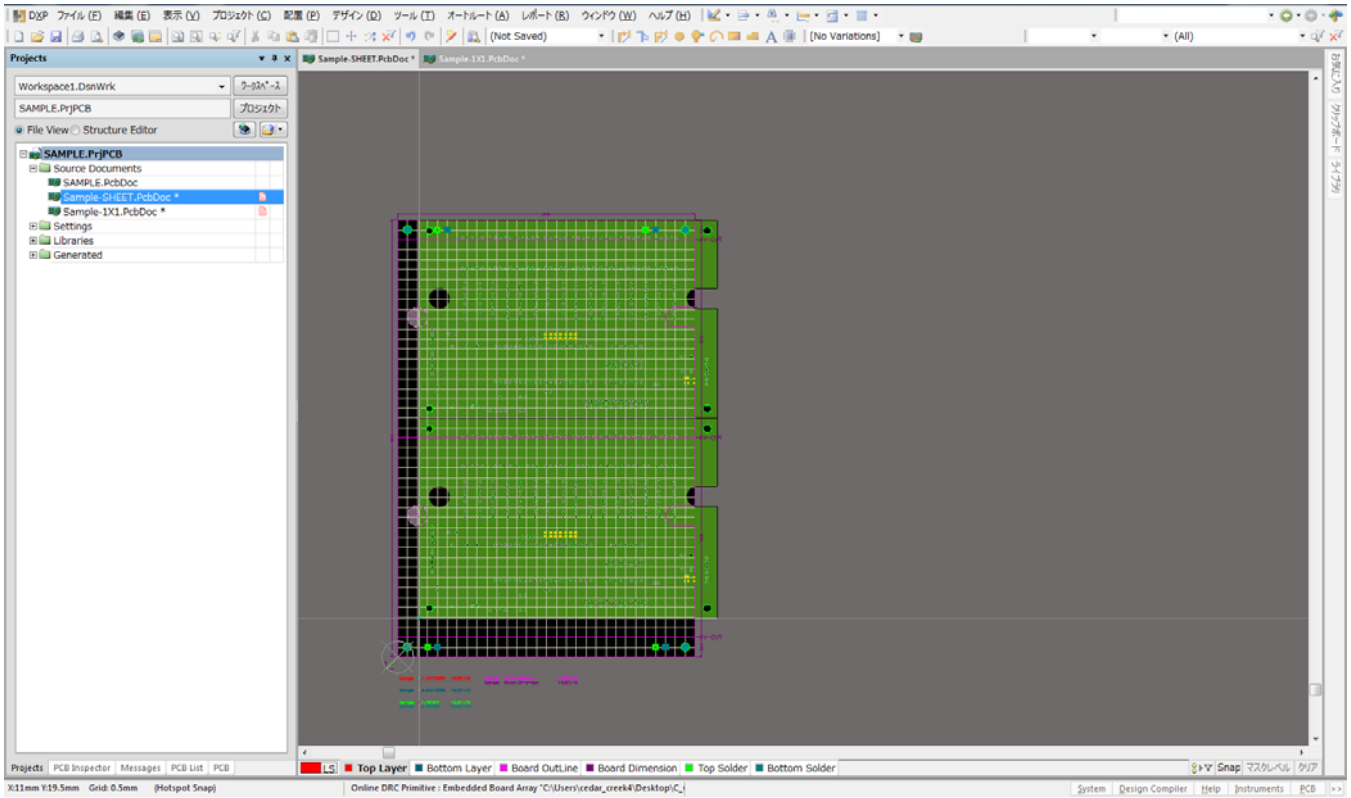


貼り付けデータの選択　（Sample-1X1.Pcb）



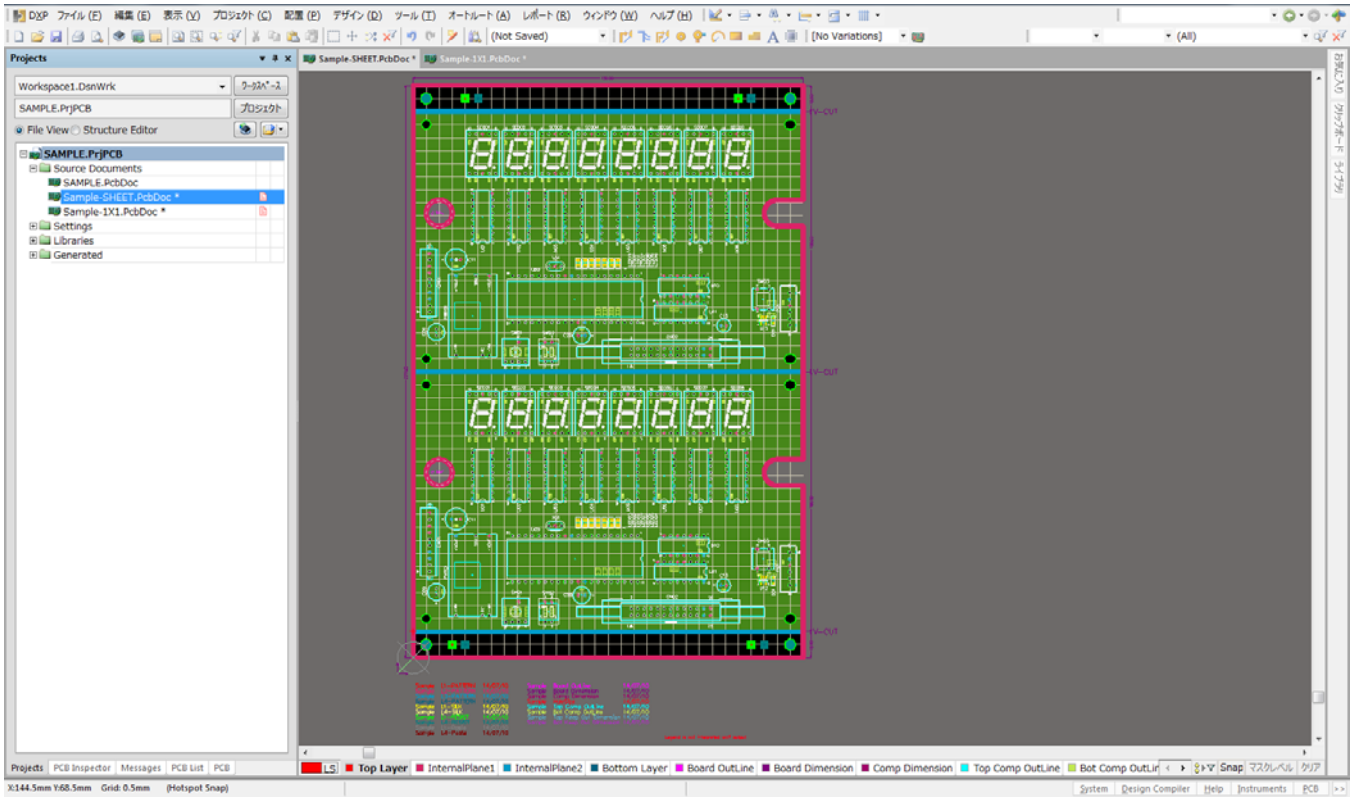
緑印：X 方向寸法　　青印：Y 方向寸法　　赤印：面付けデータ　　紫印：面付け数

シートデータに面付けデータの配置



原点を指定する。

下記は Y 方向に 2 面付け



設計を変更する場合は設計用「.PcbDoc」を変更し、コピーを作り「-1X1.PcbDoc」に
データ名を変えて、基板外の図番や寸法線を削除する。
その作業でシートに貼り付けているデータも変更される。

Sample.PcbDoc:　　設計用
Sample-1X1.PcbDoc：面付け貼付け用
Sample-SHEET.PcbDoc：面付け外形